



本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8121

支店・営業所

札幌	支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141
仙台	支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121
盛岡	営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541
新潟	支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112
東京	支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118
水戸	営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761
群馬	営業所	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)353-7075
長野	営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377
柏	営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(04)7132-1500
千葉	営業所	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400
名古屋	支店	〒462-0819	名古屋市中区平安2-4-87	TEL(052)918-8619
静岡	営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL(054)205-3535
大阪	支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2035
京都	支店	〒612-8414	京都市伏見区竹田段川原町195	TEL(075)645-5061
神戸	営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL(078)367-1580
広島	支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331
福岡	支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416
南九州	営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347

販売関係会社

埼玉	マックス	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341
横浜	マックス	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661
	多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051
金沢	マックス	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1873
岡山	マックス	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516
四国	マックス	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー

本社	高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820
埼玉	サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448
札幌	サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487
仙台	サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778
名古屋	サービスステーション	〒462-0819	名古屋市中区平安2-4-87	TEL(052)918-8624
大阪	サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815
広島	サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
福岡	サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

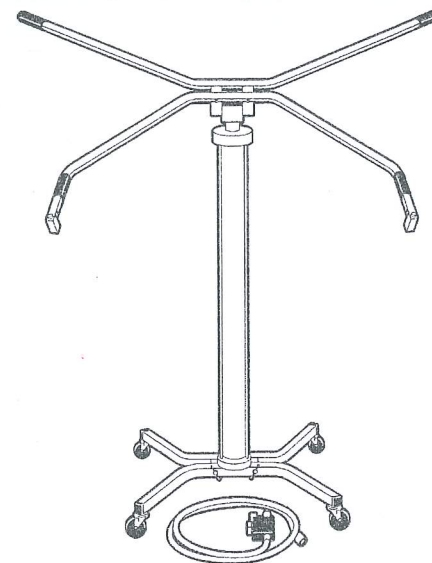
●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料)0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時  
【ナンバーディスプレイ】を利用しています。

# マックスエンジニアリング AL-2500A

## 取扱説明書

天井ボード用リフタ



### 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 石膏ボード、又はそれに類する天井材の昇降用途以外に使用しない。
- 使用しない時、また、調整・修理の時は必ずエアホースをはずす。
- 移動する際は、必ずエアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。



このたびは、マックスエアリフタAL-2500Aをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

### ■表示について

**警告** この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

**注意** この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

### ■絵表示について

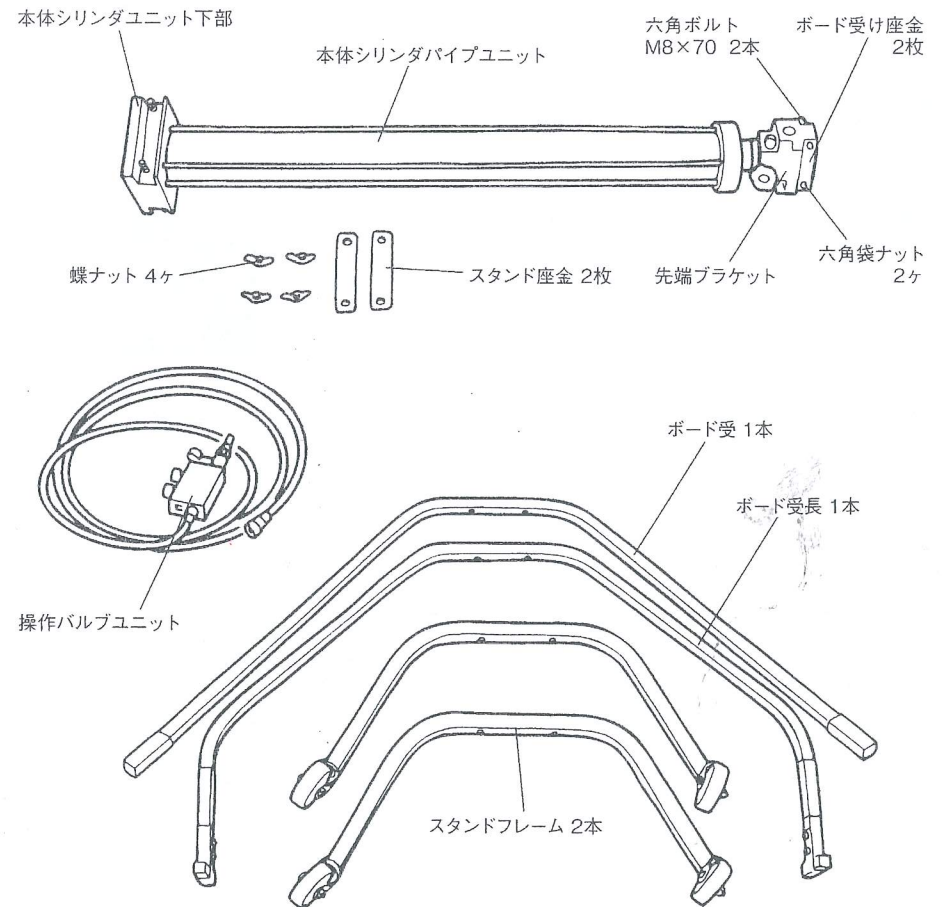
**禁止** この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

## 目次

1. 主要部品名称 .....	1
2. 安全作業のために .....	2
3. 仕様及び装備品 .....	6
4. 組立て方法 .....	7
5. 配管方法 .....	9
6. 使用方法 .....	10
7. 性能を維持するために .....	13

全国販売拠点、サービス拠点一覧

# 1 主要部品名称





## 2 安全作業のために

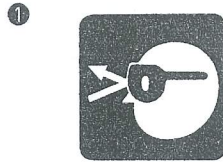
本機は、石膏ボードおよびそれに類した材料の天井材をボード受けに乗せて押し上げることを目的とした空気工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

### 作業前

#### 警告

##### ① 作業環境に応じた防具を着用する。

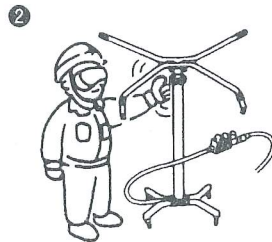
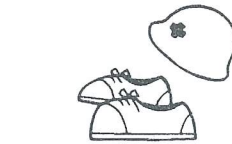
作業環境に応じて保護メガネ、ヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



##### ② エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. 操作バルブのボタンはスムーズに動くか。



不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー株式会社へ点検・修理に出してください。

##### ③ 周囲に人がいないことを確認してから使用する。

本機はエアシリンダにより、石膏ボード、張り天板等を押し上げる工具です。ボード受けが上下しますので、近くに人がいると誤って本機に触れて怪我をする恐れがあり、危険ですので、周囲に人がいないことを確認してから作業を行ってください。

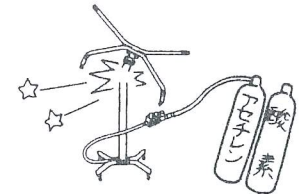


## 2 安全作業のために

#### 警告

##### ④ エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

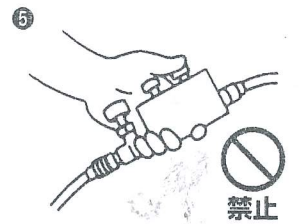
本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス(例：酸素、アセチレン等)を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。



##### ⑤ エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1. 操作バルブに触れない。



##### ⑥ エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはボード類を載せないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がある場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因になりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー株式会社へ点検・修理に出してください。



## 2 安全作業のために

### 警告

#### ⑦ 作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。



#### 作業中

### 警告

#### ① 使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は0.29～0.49MPa (3～5kgf/cm<sup>2</sup>) です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。0.49MPa (5kgf/cm<sup>2</sup>) を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。



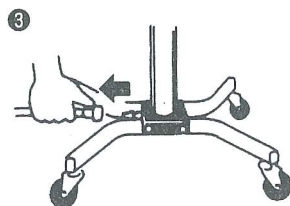
#### ② 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物 (例：シンナー、ガソリン等) のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。



#### ③ 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中の調整時は誤って作動すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。



## 2 安全作業のために

### 警告

#### ④ 異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー株式会社に点検・修理に出してください。

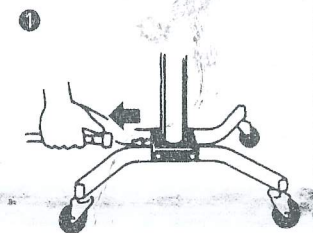


#### 作業後

### 警告

#### ① 作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。



#### ② 本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。





### 3 仕様及び装備品

商 品 名	マックス エアリフタ
商 品 記 号	AL-2500A
質 量	14kg
寸 法	ボード受部 (W) 720× (L) 1,100mm スタンド部 (W) 550× (L) 500mm (キャスター部を除く) ボード受部高さ (最低時) 1,170～ (最高時) 2,810mm
使用空気圧範囲	0.29～0.49MPa (3～5kgf/cm <sup>2</sup> )
最大積載重量	30kg以内
装 備 品	操作バルブユニット エアホースφ6.5×3m 1本

#### 【積載可能物の目安】

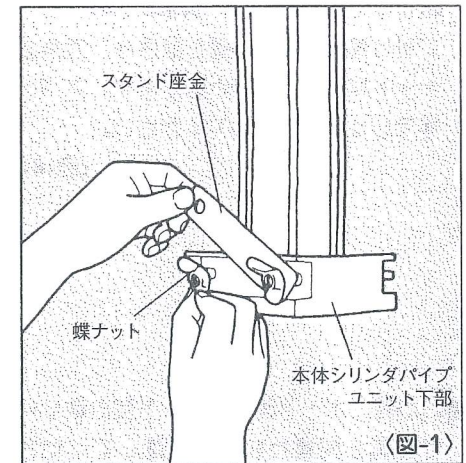
●最大積載重量は30kg以下です。積載可能物は下表を参考にしてください。

種 類	寸法 (mm)	厚み (mm)	数量 (枚)	ボード受部
石膏ボード	910×1,820	9.5	2	標準
	910×1,820～2,420	12.5～15.0	1	

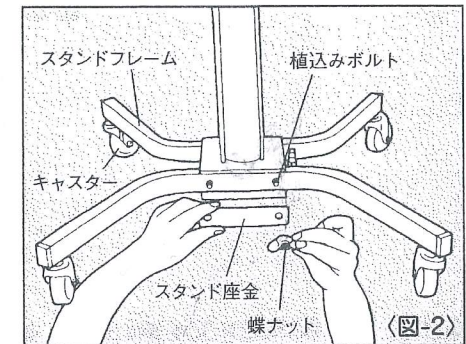
### 4 組立て方法

#### 【スタンドフレームの組付け方法】

①本体シリンダパイプユニット下部の蝶ナット4ヶとスタンド座金2枚を取り外してください。 (図-1)

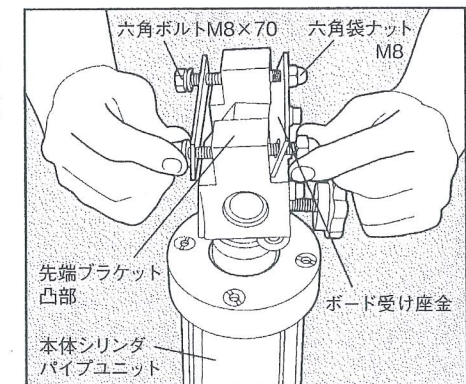


②次にスタンドフレーム2本をそれぞれシリンダパイプユニット下部の溝と植込みボルトに嵌め込み、スタンド座金を乗せ、蝶ナットを締め込み、しっかり固定してください。 (図-2)



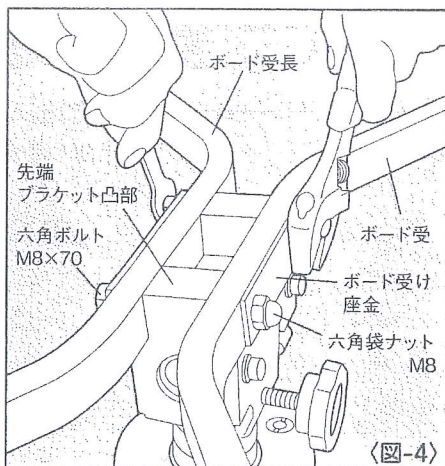
#### 【ボード受けの組付け方法】

①先端ブラケット凸部の六角袋ナットM8 2ヶをはずし、ボード受け座金2枚と六角ボルトM8×70・2本を取り外してください。 (図-3)



②次にボード受長とボード受を先端ブラケット凸部に六角ボルトM80×70・2本で取付けてください。六角ボルトは、ボード受け座金2枚で両側をはさみ、六角袋ナットM8により締め込みます。スパナ等でしっかり固定してください。

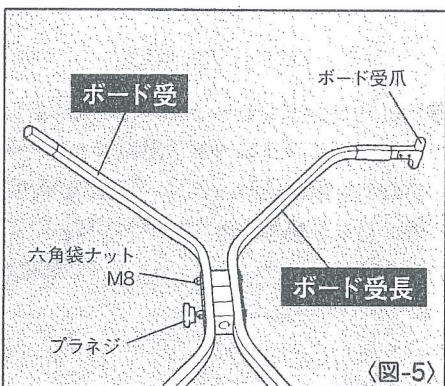
〈図-4〉



〈図-4〉

③この時、ボード受長とボード受の取り付け位置を間違わない様注意してください。

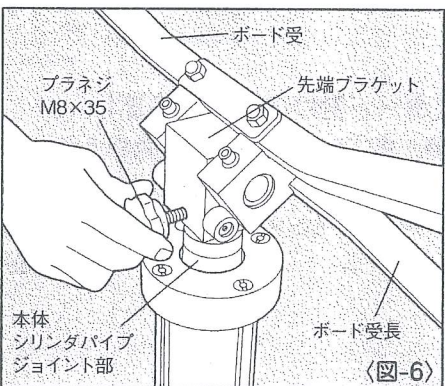
〈図-5〉



〈図-5〉

④最後にブラネジM8×35を締め込み、本体シリンダパイプジョイント部と先端ブラケットをしっかり固定してください。

〈図-6〉



〈図-6〉

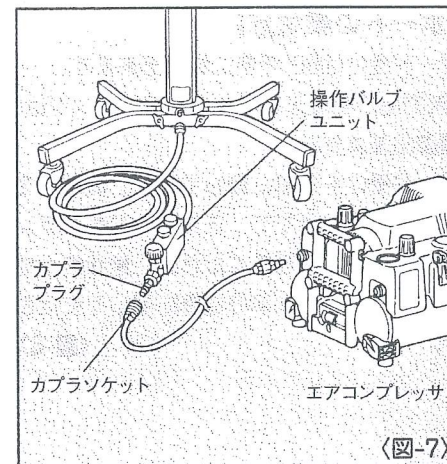
## 5 配管方法

操作バルブユニットにはエアホース3mカプラ付1本が配管されておりますので、右図の様に本体及びエアコンプレッサに配管してください。

右図の様に配管していないと誤動作の原因となります。

必ず右図の配管方法を行ってください。

〈図-7〉



〈図-7〉

### ⚠ 警告

●エアホース接続の時は必ず厳守する。

エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

- 1.配管方法は必ず厳守する。絶対にエアコンプレッサからのエアホースを直接本体へはつながない。
- 2.操作バルブのボタンに手を掛けない。
- 3.本体のシリンダ上昇方向へは人体を向けない。

●作業中断時は必ずエアホースをはずす。

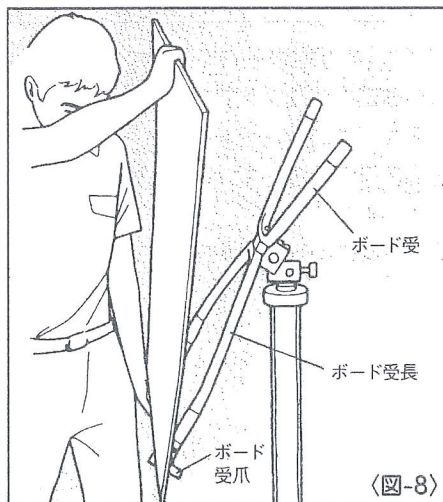


## 6 使用方法

### 【ボードの乗せ方】

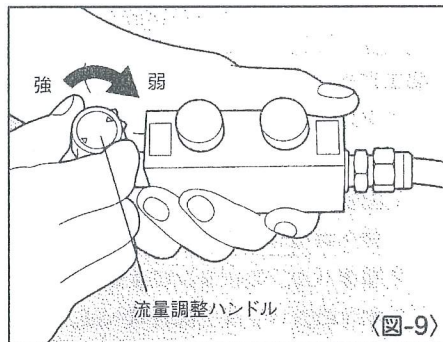
ボード受けは60°手前に傾斜出来ます。  
(別売品の和風天井用ボード受けロングは、傾斜出来ません。)

ボード受けを手前に倒してボードの端面をボード受爪に当てて、天井ボードをバランス良く確実に乗せてください。乗せ終わったらボード受けを水平の位置に戻してください。  
〈図-8〉



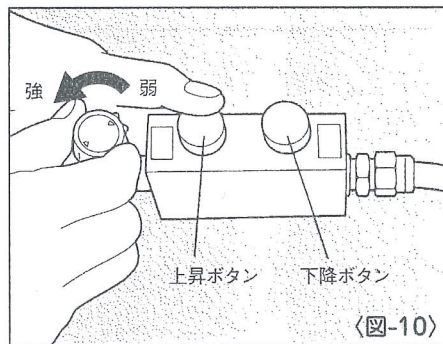
〈図-8〉

操作バルブユニットの流量調整ハンドルを弱の時計方向に止るまで回してください。  
〈図-9〉



〈図-9〉

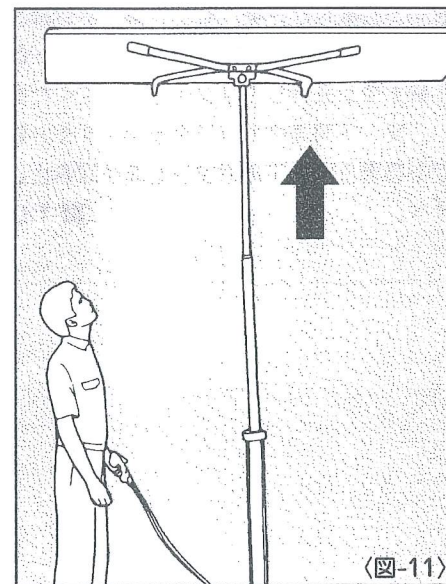
操作バルブユニットの上昇ボタンを押しながら、流量調整ハンドルを反時計方向に回し、ボードの押し上げスピードを調整してください。ボードの厚みや大きさによって重さが変わるとスピードも変化します。途中で停止させる場合は上昇ボタンを離せばその位置で停止します。  
〈図-10〉



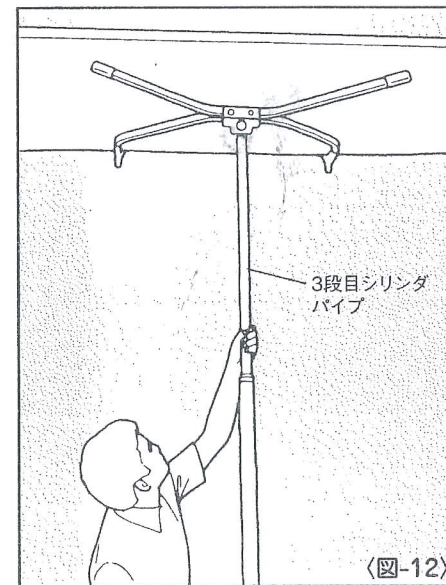
〈図-10〉

天井にボードが押し付けられたところで、上昇ボタンを離してください。この時、ボードを押し付け過ぎない様目で確認しながら上昇させてください。最後に3段目のシリンダパイプを手で押し下げ、取付位置の微調整を行なってください。

〈図-11〉〈図-12〉

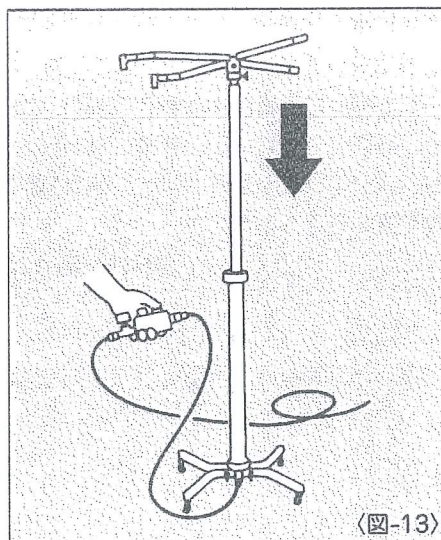


〈図-11〉



〈図-12〉

ボードの取付け作業（釘打作業、ネジ締め作業）が終わったら、操作バルブユニットの下降ボタンを押してリフトを下げてください。又、下降途中でリフトを停止する必要がある場合は、下降ボタンを離せば停止します。  
 〈図-13〉



## 7 性能を維持するために

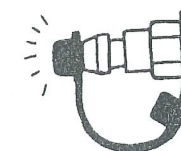
### ①本機を大切に使う

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。



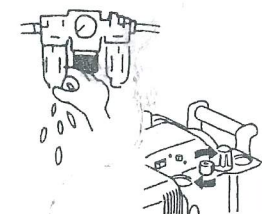
### ②エアプラグキャップの使用方法

本機を使用しないときには、機械内部とゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。



### ③エアコンプレッサのタンク、補助タンクの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンクに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。



### ④定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー株式会社にお申しつけください。